

2025年 10月 29日
グッドギビングマーク・シンポジウム

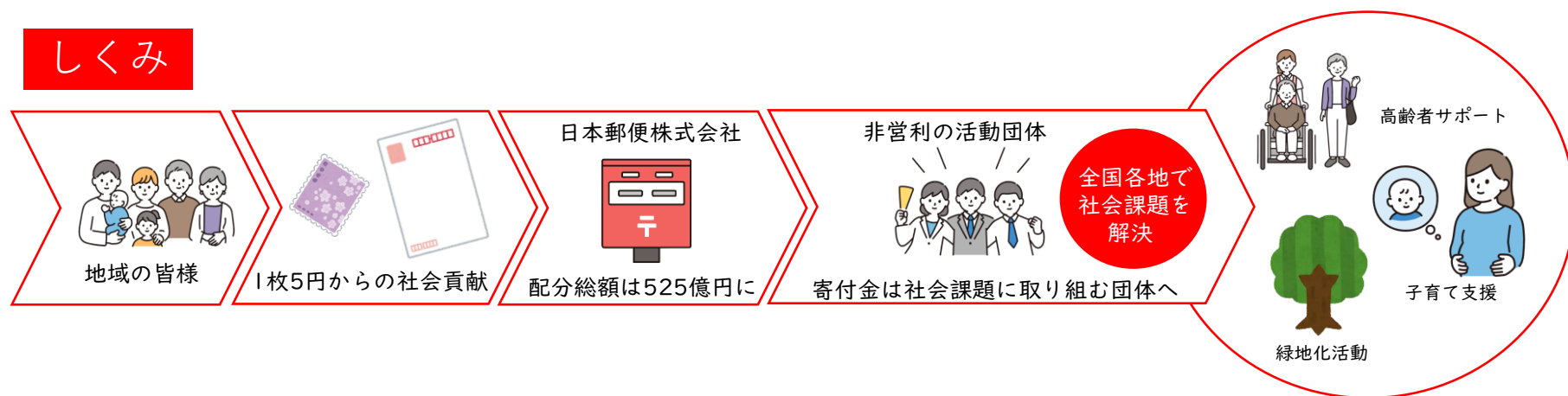
グッドギビングマーク制度の活用

日本郵便株式会社

日本郵便株式会社のNPO支援の取り組み

日本郵便では国民の福祉の増進を図ることを目的に
「年賀寄付金配分事業」を実施しています。

しくみ



年賀寄付金配分事業は1949年(昭和24年)に始まり、今年で76回目。
これまでの配分総額は525億円に上ります。
2025年度は全国のNPO等96団体に約1.6億円を配分しています。

グッドギビングマーク制度の活用

「年賀寄付金配分事業」では、グッドギビングマーク認証を得ている団体には、助成金申請時に申請書にチェックいただき、審査の際に活用しています。

申請書の項目

各種の取組状況（該当する場合のみチェック）

☐ 日本非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受けている。(グッドギビングマーク認証、グッドガバナンス認証、ベーシックガバナンスチェックのいずれか)



日本
郵便

年賀寄付金



グッドギビング

「年賀寄付金配分事業」の原資は、寄付金付年賀はがきの販売により お客様からお預かりした寄付金 です。

求められる要素

- 1. 公益性が高い事業
- 2. 信頼性が高い団体



非専門家では
チェックが難しい



2020年度の配分事業から取組状況を審査に活用

- ・ベーシックガバナンスチェック
- ・グッドガバナンス認証

NPO関係者の皆さまに対するメッセージ

今後、より求められるのは「信頼性」

助成する側の思い

助成した事業の成果は重要。しかし、助成金がルールに則り、正しく使われているかが最も重要視している点。



「支援する側から」信頼できるNPOとして認められるためにも、「目に見える形」で団体の信頼性を高めていただきたいと思います。